



岩手大学
IWATE UNIVERSITY

Iwate University Ihatov Fund Report 2024

岩手大学
イーハトーヴ基金レポート
2024 (2023年度実績報告)

学長挨拶

ご寄附への感謝

日頃より岩手大学イーハトーヴ基金に多大なるご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。
本レポートは2023年度の岩手大学イーハトーヴ基金の実績及び活動をご報告し、より多くの皆様に本学の取組をご理解いただくことを目的に作成いたしました。

2023年度にいただいたご寄附の総件数は944件となりました。一般基金へのご寄附は355件、特定基金にも多くのご支援をいただき、教育学部教員養成基金には382件ものご寄附をいただきました。皆様からのご寄附により物価高騰等で修学環境に影響を受けている学生たちへの支援等をより充実させることができました。誠にありがとうございます。

岩手大学は2029年に創立80周年を迎えます。2024年度から様々な記念事業を展開いたしますので、ぜひ記念事業のパンフレットやサイトもご覧いただければ幸いです。

これからも岩手大学の未来を創る新たな挑戦のための取組に、より一層のご理解とご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。



岩手大学長 小川 智

寄附の実績

2023年度 寄附の実績

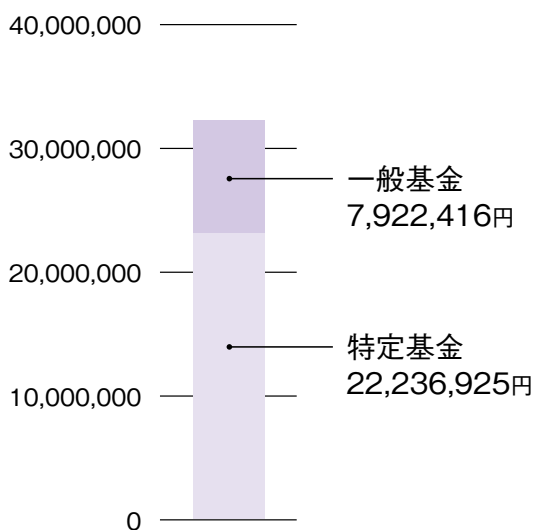
岩手大学イーハトーヴ基金にあたたかなご支援を賜りまして、厚く御礼申し上げます。皆さまからのご寄附は学生支援をはじめとする様々な事業に活用させていただいております。

金額

30,159,341 円

件数

944 件



受入金額内訳

基金名称	件数	寄附金額(円)
一般基金	355	7,922,416
地域協創教育推進基金	5	2,620,000
修学支援事業基金	29	2,575,000
キャンパス整備基金	5	2,130,000
教育学部教員養成基金	382	1,799,000
特定基金	589	22,236,925
女性活躍・ダイバーシティ推進基金(すずらん基金)	25	1,442,000
教育学部附属学校園基金	104	848,000
理工学部未来チャレンジ	1	280,000
留学生同窓会	5	181,000
ものづくりEF支援基金	13	153,925
農学部みらい基金(北水会基金)	4	143,000
地域を支えるまちづくりリーダー育成基金	9	105,000
がんちゃんすくすく保育園支援事業基金	1	10,000
その他	6	9,950,000

寄附の累計 (2015年12月創設～2023年度)

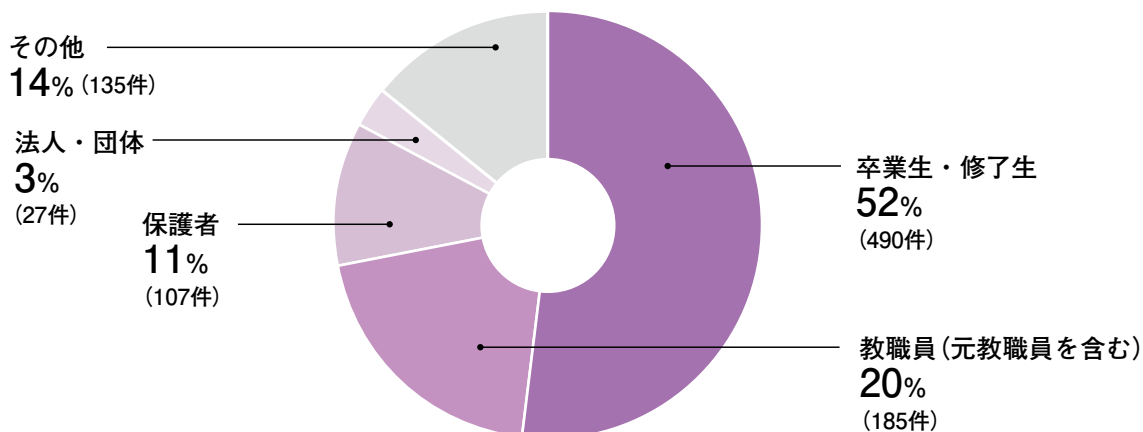
総額

261,424,264 円

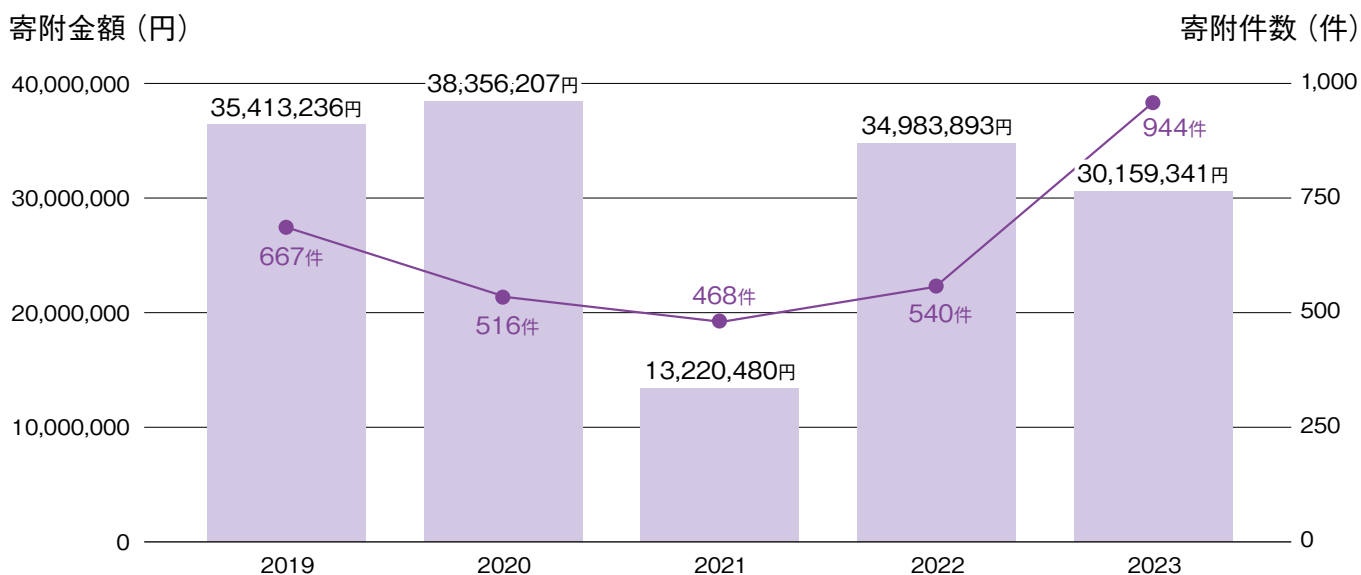
総件数

4,422 件

2023年度 寄附者の区分(件数)



過去5年間の実績



TOPICS

岩手大学

創立80周年記念事業

岩手大学は2029(令和11)年に創立80周年を迎えます。2024(令和6)年7月より、80周年に向けた様々な取り組みが始まりました。記念サイトでは、記念プロジェクトや記念募金のご紹介、卒業生・修了生へのインタビュー記事、関連イベント情報などを公開しています。ぜひ、ご覧ください。

岩手大学創立80周年記念サイト
<https://80th.iwate-u.ac.jp>



● 創立80周年記念ロゴマーク

本学の学章にデザインされ学生歌にも登場する桐の花の一部を用いて、過去・現在・未来をつなぐ時代の輪を表現しています。

活動報告

奨学金支援「ありがとう」の言葉

岩手大学イーハトーヴ基金では経済的な理由で修学を断念することがないように給付型の奨学金で学生をサポートしています。2023年度は58人の学生を支援することができました。支援を受けた学生からの感謝のメッセージです。



教育学部の学生

この度は奨学金をいただきありがとうございます。4年間という短い大学生活の中で勉学に集中するために、お金の心配が減ることはとても大事なことだと思います。今回受給させていただいたことで、より勉学に進進することができました。



大学院生

イーハトーヴ基金のおかげで、生活に余裕が生まれ、研究に集中することができました。特に、共同研究先へ向かうための交通費は生活を圧迫しており、精神的にも生活的にも大きな障壁となっていました。イーハトーヴ基金のおかげで研究に力を注ぐことができ、感謝しています。ありがとうございました。

奨学金は、タブレットの購入と生活費に充てました。実験記録を持ち歩きやすい形で管理できるようになりました。また、実験が多いためアルバイトができませんでしたが、イーハトーヴ基金のおかげで生活することができました。ありがとうございます。



理工学部の学生

岩手大学イーハトーヴ基金を原資とした奨学金は、自分の生活を安定させるだけでなく、やりたい研究・調査や将来のための勉学に非常に役立つものでした。すぐれた人材を岩手から輩出する可能性をより高めるという意味でも、岩手大学イーハトーヴ基金は重要であると感ずます。ありがとうございました。



人文社会科学部の学生



農学部の学生

勉強にはどうしてもお金がかかってしまいます。勉強していると教科書だけでは満足できず、参考書も欲しくなります。今回、奨学金では解剖学の参考書をメインに生理学や放射線学の参考書を購入させて頂きました。特に解剖学の参考書は苦手だった分野を学ぶ助けになりました。更に熟読しポロポロになるまで愛読したいと思います。本当に感謝しています。



理工学部の学生

イーハトーヴ基金のおかげで、学業に専念し、良い成績をとる事ができました。学習意欲が向上し、今後の勉強へのモチベーションも高まりました。とても感謝しています。

国際交流・留学生支援「ありがとう」の言葉

イーハトーヴ基金では、学生の国際交流や留学を支援しています。本事業は一般基金を活用させていただきました。支援を受けた学生からの感謝のメッセージです。



人文社会科学部
佐藤 花 さん

短期海外研修支援により
マレーシア・クアラルンプールへ派遣



コロナウイルスの感染拡大が比較的収束し、長年の夢であった海外研修に初めて参加することができました。異なる文化や価値観に触れ、世界を肌で感じることできた大変貴重な経験となりました。現地で出会った新しい仲間、美味しい食べ物、美しい景色、その全てが一生の宝物です。マレーシアも日本もますます大好きになりました。温かいご支援に感謝いたします。ありがとうございました。



人文社会科学部
吉田 莉那 さん

短期海外研修支援により
アメリカ・カリフォルニアへ派遣



今回の研修では、海外で活躍するために進むべき方向性を理解し、自己実現の基礎を身につけることができました。米国シリコンバレーにて活躍する多くの日本人講師から、国際社会で活躍できる人材に必要なスキルとその習得方法を直接学び、講演会やディスカッションを通して自分の将来について深く考えることができました。今後も留学の機会がありましたらぜひまた参加したいです。支援を受けて海外研修に参加できたことをとても嬉しく思います。ありがとうございました。

岩手大学合唱団 第70回記念定期演奏会を開催

この度は岩手大学合唱団へご支援をいただき、誠にありがとうございました。この度、かねてより望んでいた「岩手大学合唱団第70回記念定期演奏会」を2024年1月21日に盛岡市民文化ホール(マリオス)にて開催することができました。イーハトーヴ基金の支援を受け、外部からオーケストラを招聘し、高校生以下の入場料を200円にすることができました。今後も岩手県での合唱を更に盛り上げるべく練習に励みます。(岩手大学合唱団 市川 聖也)



団員集合写真

岩手大学吹奏楽部 フレッシュコンサートを開催

2023年6月4日、盛岡市民文化ホール(マリオス)にて「岩手大学吹奏楽部フレッシュコンサート」を開催しました。当日は186名にご来場いただき、日ごろの活動の成果を披露できたと同時に、私たちの活動に対するご理解・ご協力への感謝をお伝えすることができました。岩手大学の活発な課外活動もアピールできたと感じています。ご支援、ありがとうございました。(岩手大学吹奏楽部 田添 遥)



フレッシュコンサートの様子

うえだめし2023を実施しました

2023年11月27日～12月1日に、岩手大学と上田商店街が協力し、上田通りにある7店舗の特製弁当(700円)を200円で販売する「うえだめし2023」を実施しました。物価高騰の影響を受ける学生の生活を支援する取組です。当日は販売前から列ができるなど販売会場は賑わいました。本取組についてイーハトーヴ基金より支援しました。



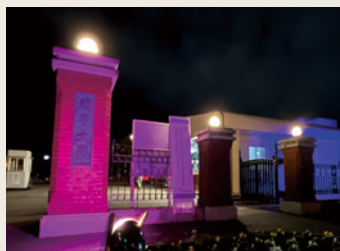
うえだめしの企画運営に参加した「まちづくりサークルNPCN」のメンバー

TOPICS

女性活躍・ダイバーシティ推進基金(すずらん基金)の取組

● クラウドファンディングで「パープル・ライトアップ」を実施

ダイバーシティ推進室は、性暴力・性被害のないキャンパスを目指す啓発活動のため、クラウドファンディングに挑戦しました。2022年から取り組んでいる「パープル・ライトアップ」を継続するため、ライトアップ機材購入費の獲得を目指したプロジェクトです。2023年7月4日～8月31日の間に62名から計60万6千円(目標56万円)のご寄附をいただきました。支援者の皆様に心より感謝申し上げます。同年11月、無事にライトアップを実施することができました。



パープル・ライトアップ2023の様子



ダイバーシティ推進室HP

● チャリティイベント「すずらんの日」を開催

2024年1月20日、ジャーナリストの浜田敬子氏をゲストに招き、トークショーを行いました。海妻径子副学長・ダイバーシティ推進室長との対談では、男性リーダーに求められる行動や、人手不足の地方で成長する組織づくりのポイントなど、岩手県における女性活躍・ダイバーシティ推進に役立つ様々な示唆がありました。会場にはすずらん基金や支援企業(すずらん企業)の紹介コーナーや寄附受付ブースも設置し、寄附者へは協賛企業からの提供品の返礼等も実施しました。



トークショーの様子。左から、海妻副学長、浜田氏

寄附者インタビュー

大久保 孝信さん

1981年3月岩手大学教育学部小学校教員養成課程卒業後、釜石市役所に就職。主に社会教育や公民館事業を担当し、2019年3月定年退職。現在、釜石市民体育館勤務。中学・高校・大学と卓球部に所属し、現在でも週1~2回は練習を続けている。また、釜石岳友会に所属し月2回ほど登山を楽しむ。ビールを飲みながらジャズを聞いたり、星空を眺めることも好き。

大久保孝信さん。
インタビューは大久保さんが
現在勤務する
釜石市民体育館にて収録

Q1: 大久保さんは岩手大学教育学部を卒業されています。岩手大学に進学したきっかけを教えてください。

私はもともと学校の教員になりたいくて、岩手大学の教育学部へ進むことにしました。残念ながら、教員採用試験には合格できなかったのです。そこで、出身である釜石市の職員になりました。

Q2: 学生時代の思い出のエピソードがあれば教えてください。

私は教育学部でしたので、やはり教育実習が思い出深いです。盛岡市立仁王小学校の2年生のクラスで実習をしました。子どもたちに教えることは大切であると同時にとても大変な仕事であることも実感しました。私の好きな言葉に、ルイ・アラゴンという詩人の「教えるとは共に未来を語ること。学ぶとは誠実を胸に刻むこと」という名言があります。この言葉のとおりだなと思いました。教育実習を通して子どもたちと一緒に自分も成長することができたと感じています。

私は社会科教育の地理学研究室にいました。地理学には巡検というフィールドワークがあります。巡検のためにい

ろんなところへ出かけていきました。フィールドワークをしてレポートにまとめて提出するというものです。3年の時には石川県金沢市へ行きました。それぞれがテーマを決めて、金沢駅に集合し、実地研修へ向かったことを思い出します。私のテーマは砂丘地を利用して野菜などを栽培する砂丘地農業でした。

地理学の先生からは、車や列車などの窓から見える景色、つまり、車窓景観を一番大事にするように教えられました。「地域ごとに移り変わる、家並、林、畑、田んぼなど、車窓から見えるその景色こそが地理学なんだよ」と話して下さったことが忘れられません。本で勉強するよりも現場を見て学ぶことが大事だと知りました。

当時所属していた卓球部の思い出もたくさんあります。あの頃はみんなで一生懸命に練習していました。でも、なかなか勝てなかったですね。卓球部のメンバーとは今でも付き合いがあります。一年に一回は集まる、とてもいい仲間です。

Q3: 大久保さんは卒業後、どんなお仕事を担当されましたか。さまざまな趣味も楽しんでいらっしゃいますね。

市役所では社会教育関係を担当していました。「歩け歩

け運動」という事業で昔の街道歩きや登山に携わったんです。釜石市、大船渡市、住田町にまたがる五葉山に初めて登ったのも仕事がきっかけでした。それから登山が好きになり、現在でも月2回は登っています。公民館事業では星空観察会なども開催し、星空を見るのも好きになりました。

大学時代に下宿の先輩の影響で、ジャズを聴くようになりました。当時はジャズ喫茶でアルバイトもしていたんです。今でもビールを飲みながらジャズを聴く時間が至福のときとなっています。

また、大学卒業後も卓球を続けています。現在は週一回、地域の中学校で生徒に卓球を教えています。

大学で教えてもらったこと、教育学部で学んだことが生活のなかで活きていると感じます。

Q4: これまでどのような思いから岩手大学へご寄附いただいたかお聞かせください。

まず、私は岩手大学が大好きです。いい大学だと思います。学生時代、農学部で植物園の近くに間借りしていました。旧正門から続く並木道のところですか。あの辺はとてものんびりしていて気に入っていました。当時のことを思い出すと、

やはり今の自分を作ってくれたのは岩手大学だと認識します。

少しでも余裕があるときには寄附をしています。経済的に困っている学生の役に立てばと思っています。お金がない学生は多いですよね。私が学生の頃は食堂でドレッシングをかけた千切りキャベツだけを食べている人もいました。少しでも役に立てばうれしいと思い、寄附を続けています。

Q5: 岩手大学は2029年に創立80周年を迎えます。これからの岩手大学に期待することはどんなことでしょうか。メッセージをお願いします。

岩手大学は岩手県における学問のトップランナーです。ニュースで岩手大学が出てくるとがんばっているなあ、と嬉しくなります。これからも岩手県をリードする存在であってほしいです。そして、全国的な存在感もぜひ高めていってほしいと期待しています。

学生に対しては、環境がすばらしい岩手大学でのんびりした時間を過ごしながらかも、いろんな場所へ出かけ、いろんなものを見て聞いてほしいと思います。就職するとそのような時間を取ることがなかなか難しくなります。4年間の貴重な時間のなかで、積極的にいろんなことを学んでほしいです。



釜石市民体育館のアリーナにて。この体育館は釜石市の新たな屋内スポーツ施設として令和元(2019)年12月、瀬住居町にオープンした

寄附のご案内

岩手大学ではイーハトーヴ基金へご寄附いただいた皆様に感謝の意を込めて、以下の特典をご用意しております。

すべての寄附者の皆様

感謝状の贈呈

ご寄附いただいた皆様全員に、学長からの感謝状を贈呈させていただきます。



ご芳名の掲載

イーハトーヴ基金HP及び広報誌にて、ご芳名を「岩手大学イーハトーヴ基金寄附者芳名録」として掲載させていただきます。

10万円以上のご寄附をいただいた皆様

10万円以上ご寄附いただいた皆様には、本学構内(本部棟または学生センターA棟)の顕彰銘板に、ご芳名を掲載させていただきます。ご寄附の金額に応じたプレートをご用意しています。

プレートの種類

- ゴールド 50万円以上
- シルバー 30万円以上
- ブロンズ 10万円以上



※ご芳名の公開を希望されない方につきましては、掲載いたしません。ご芳名は「基金寄附申込書」「払込取扱票(振込通知書)」に記載されたお名前を掲載します。ご寄附金額の公開を承諾いただいた皆様につきましては、金額も掲載させていただきます。

岩手大学創立80周年記念募金について

2024年度より岩手大学創立80周年記念募金事業を開始いたしました。これからの未来にむけた8つのプロジェクトについて、ご寄附を受け付けております。80周年記念募金事業では本学卒業生にまつわる返礼品なども用意いたしました。詳細につきましては80周年記念サイトをご覧ください。基金室までご連絡いただければパンフレットを郵送させていただきます。皆様のご賛同、ご支援を何卒よろしくお願い申し上げます。



岩手大学 創立80周年記念サイト
<https://80th.iwate-u.ac.jp>

寄附の申込方法

本学では、書面またはインターネットにてご寄附を受け付けております。また、様々な方法でご寄附をお受けしておりますので、下記詳細をご覧ください。

クレジットカード決済、コンビニ決済、Pay-easy決済

寄附支払いサイト<F-REGI>からご寄附を受け付けています。

①イーハトーヴ基金HPのトップページ上の「寄附をする」ボタンへ進む



イーハトーヴ基金HP
トップページ

②「クレジットカード決済、コンビニ決済、Pay-easy決済を利用して寄附する場合」欄の「F-REGIサイトから寄附をする」ボタンへ進む

③F-REGIサイトが開いたらページの最下部にメールアドレスを登録する

④登録したメールアドレスに届いたインターネット納付用URLにアクセスし、必要情報を入力する

※お申し込みいただいてから領収書の送付まで1~2か月程度の期間をいただきます。領収書の日付は、寄附申込完了日ではなく、本学に入金があった日付となりますのでご注意ください。

● ご利用いただけるクレジットカード



● ご利用いただけるコンビニエンスストア

セブン-イレブン、ローソン、ファミリーマート、ミニストップ、セイコーマート

銀行振込

銀行振込(手数料有料)をご利用いただく場合は、下記のフォームへ進み、必要事項入力の上、送信してください。メールにて振込先銀行口座情報をお知らせいたします。



銀行振込
申込フォーム

郵便振替

イーハトーヴ基金パンフレットにある払込取扱票に必要事項をご記入の上、最寄りのゆうちょ銀行・郵便局窓口にて払い込み手続きをお願いします。払込取扱票付パンフレットがお手元ない場合には、岩手大学基金室までお問い合わせください。

継続寄附

クレジットカード決済により定額の継続寄附が可能です。ご支援金額は、1,000円から任意の設定をしていただけます。寄附支払いサイト<F-REGI>(※上記クレジットカード決済の詳細をご覧ください)の寄附方法の選択から毎月、毎年等、頻度を設定してください。

※ご寄附いただいた金額は累計されます。



発行/国立大学法人岩手大学 基金室
〒020-8550 岩手県盛岡市上田3-18-8
Tel:019-621-6091 Fax:019-621-6014
Email:kikin@iwate-u.ac.jp



イーハトーヴ基金HP



イーハトーヴ基金X
(旧Twitter)